

第5次綾部市総合計画（前期基本計画） 目標とする指標の進捗状況（平成23年度）

綾部市では、平成23年度から平成27年度を計画期間とする第5次綾部市総合計画を平成23年3月に策定し、「住んでよかった・・・ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を実現するための施策を実施しています。

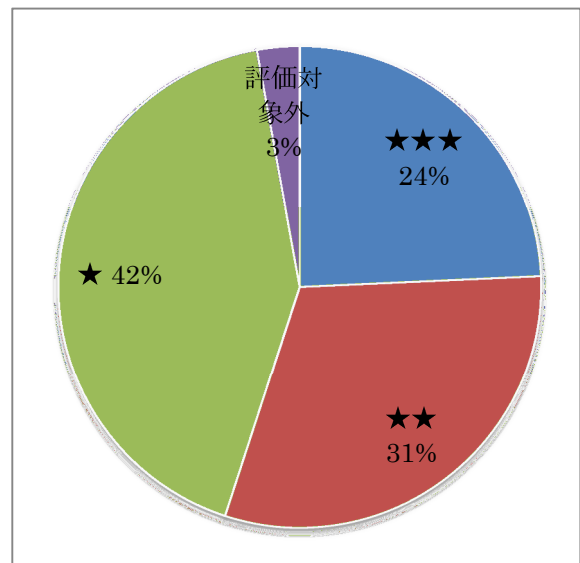
この前期基本計画の中で、施策の進捗度を客観的に測定するため、平成27年度を目標年次とする140項目の指標を定めており、今回、平成23年度の取組結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1. 評価の説明

評価		説明
★★★★	目標達成	実績値が目標値を上回っているもの
★★	順調に進捗	目標に向け順調に進捗しているもの
★	未達成	目標達成に向けた更なる努力が必要なもの
評価対象外		実施しなかったもの、数値が把握できないものなど

2. 目標とする指標に係る事業の取組結果

- 目標とする指標に係る事業の平成23年度における取組結果について、全140項目のうち、★★★★（目標達成）が34項目（24%）、★★（順調に進捗）が43項目（31%）、★（未達成）が59項目（42%）でした。
- 目標とする指標は、前期基本計画期間の最終年度である平成27年度に達成を目指す数値です。既に目標を達成した項目が24%にのびりました。
- 今回の平成23年度の取組結果は、5年間の計画の1年目であり、未達成の項目については、今後、目標達成に向けての更なる取組が求められます。

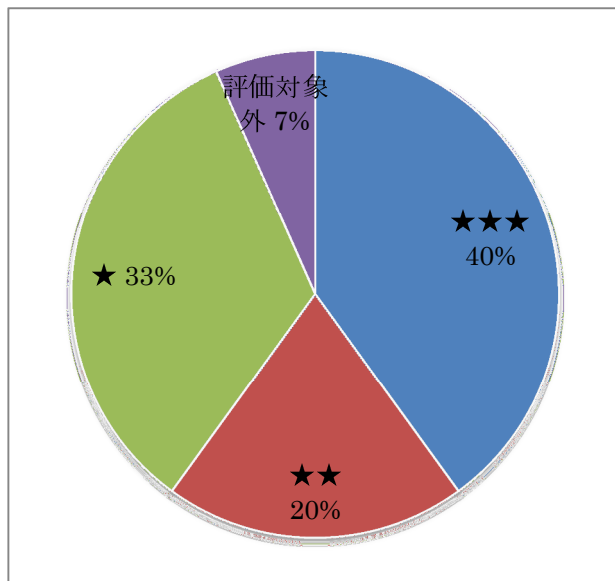


章	★★★★	★★	★	評価対象外	総計
1章	6	3	5	1	15
2章	5	9	15	0	29
3章	4	7	10	0	21
4章	6	5	12	3	26
5章	7	15	14	0	36
6章	4	3	2	0	9
計画推進	2	1	1	0	4
計	34	43	59	4	140
割合	24%	31%	42%	3%	100%

3. 各章ごとの平成23年度の取組結果

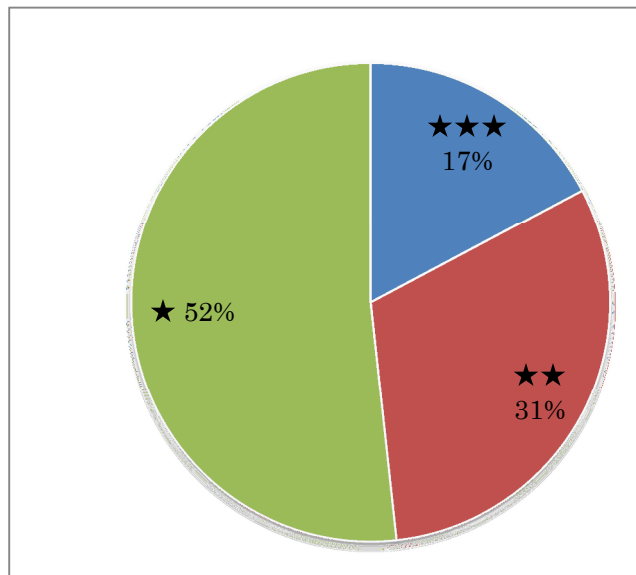
第1章 市民が輝き共に築くまちづくり

- この章では、人権尊重社会の実現、市民活動の促進、男女共同参画社会の実現、平和の発信と交流について、計画を定めています。
- 15項目のうち、60%の9項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、ボランティア総合センター登録団体数が、103団体となり、平成27年度の目標数値である100団体を達成しました。
- あやべ特別市民制度登録数が、1,323人となり、目標数値の1,500人を目指して順調に進捗しています。
- 審議会・委員会等における女性委員の比率は、27.5%となり、目標値の40%を目指した取組が必要となっています。



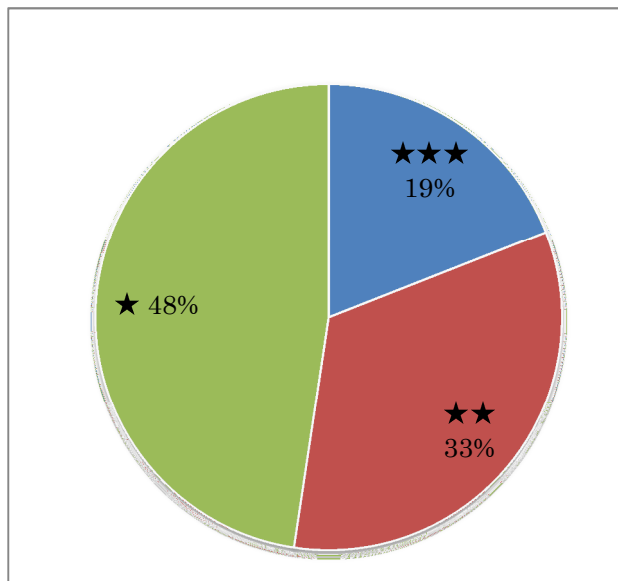
第2章 心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり

- この章では、幼児教育の充実、学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興、スポーツの振興について、計画を定めています。
- 29項目のうち、48%の14項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、図書館貸出冊数が、年間166,688冊となり、目標数値の156,000冊を大きく上回りました。
- 里山サイクリング参加者数が、382人となり、目標数値の500人を目指して一定進捗しています。
- 市美術展作品出展数は、282点となり、目標値の320点を目指した取り組みが必要となっています。



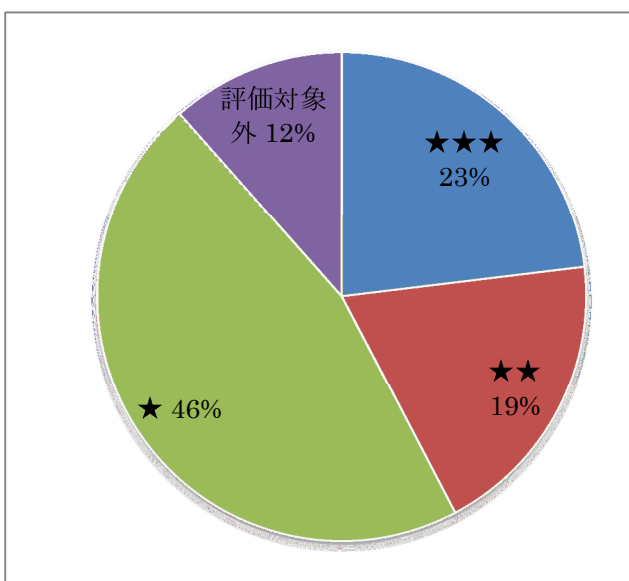
第3章 支えあい安心して暮らせるまちづくり

- この章では、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、地域福祉社会の実現、保健の推進、医療体制の充実、社会保障の適正運営について、計画を定めています。
- 21項目のうち、52%の11項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、児童館・児童センター利用児童数が、年間15,219人となり、目標数値の13,000人を上回りました。
- 地域密着型サービス施設数が12施設となり、目標の16施設を目指して順調に進捗しています。
- 国民健康保険料収納率は、94.71%となり、目標数値の96.8%を目指した取組が必要となっています。



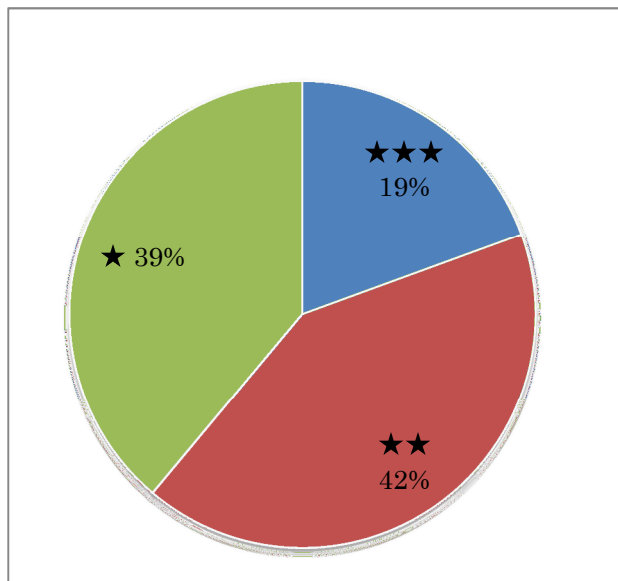
第4章 豊かさにとぎわいを生み出すまちづくり

- この章では、農林業・内水面漁業の振興、農村の活性化、商業の振興、工業の振興、観光交流の推進、地元雇用の確保について、計画を定めています。
- 26項目のうち、42%の11項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、里山交流研修センター施設利用者数が、年間7,097人となり、目標数値の7,000人を上回りました。
- 地産地消(朝市)参加生産グループは、15団体となり、目標の16団体を目指して順調に進捗しています。
- 就職フェア参加企業数は、20社となり、目標数値の40社を目指した取組が必要となっています。



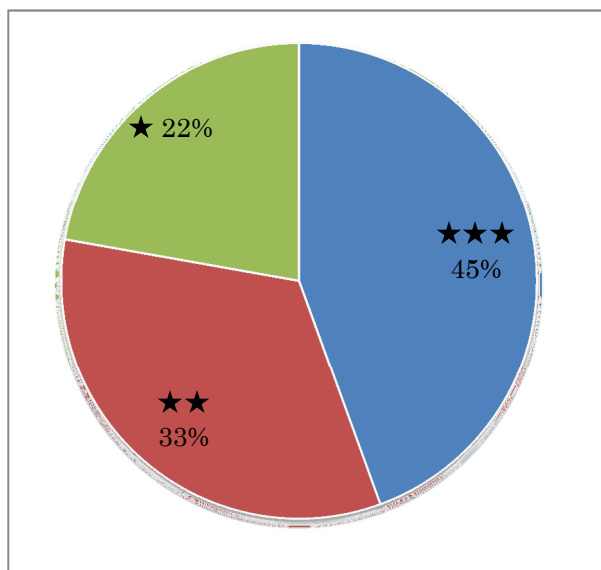
第5章 自然豊かで安全なまちづくり

- この章では、環境の保全と創造、廃棄物対策の推進、上水道の安定供給、下水道の整備促進、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。
- 36項目のうち、61%の22項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、資源物（衣料）回収量が、年間29tとなり、目標数値の25tを上回りました。
- 自主防災組織数は、130組織となり、目標数値の196組織を目指して一定進捗しています。
- コスモス祭来場者数は、年間1,600人となり、目標の3,500人を目指した取組が必要となっています。



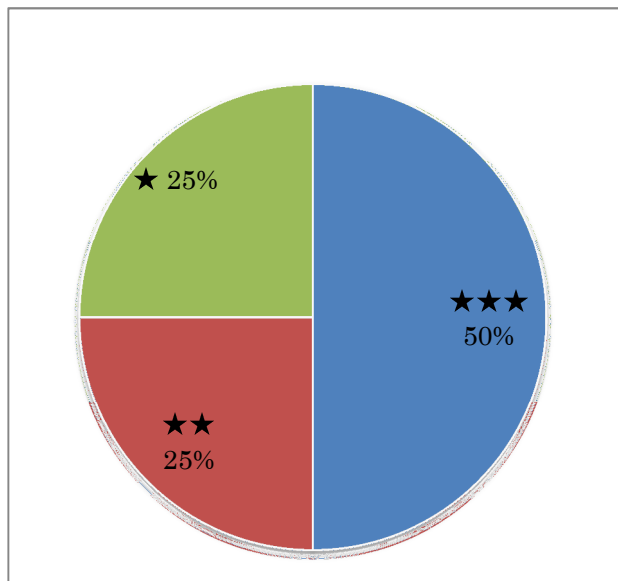
第6章 快適で誰もが住みよいまちづくり

- この章では、土地利用と市街地の形成、住環境の整備、道路の整備、公共交通の充実、公園・緑地空間の充実、斎場・墓地の適正管理、地域情報化の推進について、計画を定めています。
- 9項目のうち、78%の7項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、都市公園の1人当たり面積が、18㎡となり、目標数値の18㎡を達成しました。
- あやべ桜が丘団地販売区画数が、398区画となり、目標数値の459区画を目指して順調に進捗しています。
- あやバス乗車人数が、年間237,166人となり目標数値の245,000人を下回りました。



計画推進のために

- この章では、第5次綾部市総合計画の推進のために必要な、開かれた市政の推進、効果的な行政運営、健全な財政運営、広域連携の推進について、計画を定めています。
- 4項目のうち、75%の3項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、実質公債費比率が、14.8%となり、目標数値の18%未満を達成しました。
- コミュニティ FM 放送局行政情報提供件数が、年間 1,070 件となり、目標数値の 1,100 件を目指して順調に進捗しています。



目標とする指標の進捗状況一覧(平成23年度)

No.	種・節	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	実績値	評価	説明
1	1-1	人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	6019人	6,500人	5,801人	★	講師や受講者の高齢化により廃止となったものがあつた。ニーズを把握し、新規講座の開設により、参加者の拡大に努める。
2			社会教育課	全綾部市人研教育研究会参加者数	年間	747人	800人	705人	★	国文祭等、同日に他の場所で講演会があり、市民の方にとっては、出にくい状況もあつた。
3			社会教育課	人権を考えるセミナー参加者数	年間	857人	1,000人	1,023人	★★★	目標を達成できた。
4			社会教育課	人権教育講演会参加者数	年間	438人	450人	0人	評価対象外	大雪による中止。
5			社会教育課	公民館人権研修参加者数	年間	1,158人	1,300人	1,369人	★★★	目標を達成できた。
6	1-2	市民活動の促進	市民協働課	自治会加入世帯率	—	83%	85%	82.0%	★	地域住民のライフスタイルの多様化などから、自治会の活動に無関心な方が増えてきた可能性もある。
7			市民協働課	コミュニティ助成事業数	年間	9件	15件	4件	★	補助対象経費要件が自治会にとって負担が大きいため可能性もある。補助対象経費の緩和などの見直しを検討する。
8			市民協働課	ボランティア総合センター登録団体数	累計	92団体	100団体	103団体	★★★	目標を達成できた。
9			市民協働課	ボランティア総合センター登録団体会員数	累計	2,350人	2,600人	2,669人	★★★	目標を達成できた。
10	市民協働課	ハートセンター利用件数	年間	372件	420件	461件	★★★	目標を達成できた。		
11	1-3	男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会等における女性委員の比率	—	28.8%	40.0%	27.5%	★	役職による任用、団体からの推薦については、女性が選出されることが少ない状況にある。庁内各課において女性委員を積極的に登用し、女性委員の比率の向上を目指す。
12			人権推進課	男女共同参画講座参加者数	年間	316人	550人	617人	★★★	目標を達成できた。
13	1-4	平和の発信と交流	秘書広報課	地球市民の集い参加者	年間	150人	200人	180人	★★	より関心が高く分かりやすい内容で、地道でも着実な進展を図ることに努める。
14			秘書広報課	あやべ特別市民制度登録数	累計	820人	1,500人	1,323人	★★	今年度からNPO法人里山ねっと・あやべと連携することで、より多くの情報発信や制度の充実を図ることができた。
15			秘書広報課	綾部国際交流協会日本語教室等参加者数	年間	765人	900人	833人	★★	参加しやすい雰囲気づくりや情報の積極的な発信により成果を収めている。
16	2-2	学校教育の充実	学校教育課	小学校耐震化率	—	71%	100%	92%	★★	耐震補強を必要とする小学校の耐震化を進める。
17			学校教育課	中学校耐震化率	—	48%	76%	68%	★★	耐震補強を必要とする中学校の耐震化を進める。
18	2-3	社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	5,118人	5,200人	4,434人	★	老人クラブの加入会員の減少に伴い高齢者学級の参加者も減少傾向にある。クラブ会員以外にも広く参加を呼び掛ける必要がある。
19			社会教育課	障害者教室参加者数	年間	390人	400人	390人	★	各講座の参加者、ボランティアを中心とした「アイヤー合唱団」を結成し、合唱を通じて社会参加を図っている。
20			社会教育課	地区公民館利用件数	年間	3,709件	4,300件	3,813件	★★	参加者の減少や自主サークルの高齢化等により、利用件数は減少傾向にある。
21			社会教育課	地区公民館利用人数	年間	91,802人	93,000人	65,887人	★	自主事業の充実や公民館サークルの活性化等により利用件数、利用者数の拡大を目指す。
22			社会教育課	中央公民館利用件数	年間	853件	900件	958件	★★★	目標を達成できた。
23			社会教育課	中央公民館利用人数	年間	34,221人	35,000人	31,119人	★	利用人数は減少したが、利用件数は目標を達成しており、一定の進捗があつたと考えられる。
24			社会教育課	図書館貸出冊数	年間	149,604冊	156,000冊	166,688冊	★★★	目標を達成できた。
25			社会教育課	図書館蔵書冊数	累計	70,227冊	82,500冊	71,277冊	★★	建物の耐久性の問題から図書の高齢化をしたため、昨年度に比べ減少している。
26			社会教育課	一音声かけ参加者数	年間	1,117人	1,300人	1,131人	★★	より多くの参加者が得られるよう育成協参加団体等にさらに呼びかけていく。

No.	種・節	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	実績値	評価	説明
27	2-4	青少年健全育成の推進	社会教育課	夏の大ジャンポリリー参加児童数	年間	110人	110人	92人	★	23年度は7月中旬に実施したこともあり、各種行事と重なった。子ども達の体験活動の場として、内容の充実を図るとともに、各小学校とさらに連携し参加者の拡大を目指す。
28			社会教育課	青少年地域活動支援事業登録団体数	累計	35団体	50団体	38団体	★★	少子化により子ども会も減少傾向にある中、申請団体がわずかながら増えており一定の進捗があった。
29			文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数	年間	313点	320点	282点	★	出品者数に大きな変動はなく作品点数が減少していることから経済不況や東日本大震災による影響も考えられる。文化協会が実施する初心者文化講座を支援するとともにPRに努める。
30			文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数	年間	1,242人	1,370人	1,180人	★	東日本大震災から1カ月余りの開催であり影響が考えられる。さらにPRに努める。
31			文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数	年間	1,457点	1,500点	1,406点	★	東日本大震災による影響が考えられる。市民周知を市として積極的に支援する。
32			文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数	年間	5,172人	5,200人	4,917人	★	東日本大震災による影響が考えられる。市民周知を市として積極的に支援する。
33	2-5	文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	20件	25件	15件	★	施設の利用希望が春、秋に集中するため、夏、冬の利用促進策を検討する。
34			文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	54,248人	60,000人	54,236人	★	中丹文化会館で開催される事業について、市として積極的にPRに努める。
35			社会教育課	資料館利用者数	年間	8,026人	10,000人	8,029人	★★	様々な展示会や講座を開催することで、一定の利用者数を獲得できた。
36			社会教育課	天文館入館者数	年間	10,155人	10,200人	9,282人	★	東日本大震災の影響や、悪天候による催し物の中止や天体観望会ができないこともあった。継続して、利用者やボランティアスタッフの意見も取り入れながら、魅力ある催し物の開催に努める。
37			文化・スポーツ振興課	体育施設利用者数	年間	217,546人	233,000人	230,211人	★★	近畿大会など大規模な大会が開催されたことから基準年を上回る利用者数となった。
38			文化・スポーツ振興課	府民総体参加者数	年間	1,533人	1,550人	1,558人	★★★	目標を達成できた。
39			文化・スポーツ振興課	(財)綾部市体育協会会員数	年間	3,598人	3,650人	3,433人	★	生涯スポーツとして幅広い年齢層でできる教室や軽スポーツなどを検討していく必要があると考える。
40			文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率	-	18.1%	20.0%	24.5%	★★★	目標を達成できた。
41	2-6	スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	チャレンジデー参加率	-	42.9%	50.0%	41.6%	★	チャレンジデーからチャレンジウィークに取組み事業を移行することで、市民の参加機会を増やすとともに、運動が健康な体作りの第一歩となることをPRしていきたい。
42			文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加者数	年間	559人	570人	722人	★★★	目標を達成できた。
43			文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加者数	年間	877人	1,000人	835人	★	一般参加部門の参加者数が伸び悩んだ。地元企業に参加を呼び掛けるなどPRに努めたい。
44			文化・スポーツ振興課	里山サイクリング参加者数	年間	355人	500人	382人	★★	リピーターが増えており、大会内容が充実していることに加えて参加料が安価であることが増加の要因となっている。
45			民生児童課	児童館・児童センター利用児童数	年間	12,814人	13,000人	15,219人	★★★	目標を達成できた。
46			民生児童課	保育所充足率	-	111.7%	100%	100.3%	★★	市街地や新興住宅地等に近い保育所においては定員を上回る入所となる。各保育所と連携しながら、園児の募集やPRを実施していく。
47	3-1	子育て環境の充実	民生児童課	幼児園充足率	-	105.5%	100%	113.7%	★	市街地や新興住宅地等に近い保育所においては定員を上回る入所となる。各幼児園と連携しながら、園児の募集やPRを実施していく。
48			民生児童課	幼児発達サポート事業参加率	-	99.6%	100%	98.9%	★	スタッフ側が、様々な立場から総合的に一人の子どもを見ていくスタイルの確立と支援力量をさらに高めていくことが、さらに必要である。
49			高齢者介護課	高齢者配食サービス登録者数	累計	376人	400人	473人	★★★	目標を達成できた。
50			高齢者介護課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	2,503人	4,500人	5,603人	★★★	目標を達成できた。

No.	種・節	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	実績値	評価	説明
51	3-2	高齢者福祉の推進	高齢者介護課	地域密着型サービス施設数	累計	5施設	16施設	12施設	★★	京都府において施設整備に係る補助制度が創設されたことで順調に進捗している。
52			高齢者介護課	老人福祉センター清山荘入館者数	年間	23,618人	27,000人	22,327人	★	夏場の暑さや改修工事のため利用者数がやや減少した。指定管理者と連携し入館者数の増加を目指す。
53			福祉課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	3,448人	4,500人	3,901人	★★	丁寧な聞き取りや関係機関とも十分に連携してニーズ把握に努めた結果、順調に推移している。
54			福祉課	地域活動支援センター利用者数	年間	1,330人	1,600人	1,275人	★	講座内容、重度障害者の送迎の充実等を図るとともに、事業の積極的な市民周知を図る。
55	3-3	障害者福祉の推進	福祉課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	1,653人	2,000人	1,831人	★★	医療機関等と緊密に連携し、地域で生活する精神障害者の相談にきめ細かく対応した。
56			福祉課	障害者生活支援事業相談件数	年間	7,645件	9,000件	7,723件	★★	障害者が地域社会で安心して生活ができるように、生活、医療、住宅等に関する相談業務を行ったが、専門性を要する案件が多く、件数としては微増にとどまった。
57	3-4	地域福祉社会の実現	民生児童課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	累計	7か所	9か所	7か所	★	少子化・過疎化により、参加者やボランティアの確保が困難になってきている現状にある。関係団体等との連携を図りながら、市内全地域を対象にした実施を目指していく。
58			高齢者介護課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	30件	35件	26件	★	5グループが1つのグループとして合併したためグループ数が減少した。社会福祉協議会等と連携し啓発活動を続ける。
59			保健推進課	ウォーキングイベント参加者数	年間	582人	600人	476人	★	参加者が固定化の傾向にあるが、参加しやすいコースの設定やPRに努める。
60			保健推進課	乳幼児健康診査受診率	-	95.6%	97.0%	96.7%	★★	地区担当、業務担当できめ細かく対応している。
61			保健推進課	特定健康診査受診率	-	24%	65%	23%	★	受診者が固定しているため、個々に受診勧奨を行う。
62	3-5	保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	-	14.9%	30%	17%	★★	受診者が固定しているため、個々に受診勧奨を行う。
63			保健推進課	健康相談指導人数	年間	4,461人	5,000人	3,591人	★	564回実施したが、参加者が固定している。参加しやすい場所、日時、テーマなどを考えていく。
64			保健推進課	食育健康教育指導人数	年間	2,891人	3,000人	4,667人	★★★	目標を達成できた。
65	3-7	社会保障の適正運営	市民・国保課	国民健康保険料収納率	-	94.76%	96.80%	94.71%	★	納付相談を中心とした徴収を行っていた。平成24年度からは京都府税機構にて滞納整理を実施する。
66			農林課	農業後継者就農支援事業後継者数	累計	4人	10人	5人	★★	現認定農業者の高齢化が予想され、離農を余儀なくされることが想定される。
67			農林課	有害鳥獣被害面積	年間	13,416a	6,708a	6,589a	★★★	目標を達成できた。
68			農林課	有害鳥獣防除施設対象面積	年間	46,000a	80,500a	132,577a	★★★	目標を達成できた。
69			農林課	地産地消(朝市)参加生産グループ	年間	11団体	16団体	15団体	★★	現在活動している合同朝市実行委員会は、現在の加入グループで活動をしていく方向のため、それ以外のグループが学校と取引ができるように進めていく。
70	4-1	農林業・内水面漁業の振興	農林課	間伐材運搬対策事業搬出量	年間	-	3,500m ³	3,240m ³	★★	森林組合が平成22年度に高性能林業機械を導入し、作業を効率化を図っている。
71			農林課	内水面漁業振興対策事業放流量	年間	2,936kg	3,000kg	2,460kg	★	限られた予算の中で、出来るだけ京都府の増殖目標数に近づくような放流計画を立てていく。
72			農林課	農業法人数	累計	11法人	15法人	15法人	★★★	目標を達成できた。
73			農林課	認定農業者数	累計	57人	62人	48人	★	認定農業者の高齢化に伴い、現認定農業者の継続更新が進まない状況となった。市のホームページを利用し、啓発普及を図る。
74			農林課	新規就農者数	累計	50人	60人	45人	★	就農した直後の経営の不安定さや、就農に踏み切れない人のために創設された国の青年就農給付金を活用し、新規就農者の増加を図る。
75			観光交流課	里山交流研修センター施設利用者数	年間	6,687人	7,000人	7,097人	★★★	目標を達成できた。

No.	区・節	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	実績値	評価	説明	
76	4-2	農村の活性化	観光交流課	里山交流研修センター宿泊者数	年間	1,836人	2,000人	732人	★	市外への情報発信を強化し、合宿利用者等の確保を図る。	
77			定住促進課	定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い)	年間	15世帯	15世帯	30世帯	★★★	目標を達成できた。	
78			観光交流課	農村都市交流人口(受入数)	年間	2527人	3,000人	1,836人	★	平成24年度に交流館の研修室・体験室等に空調設備を設置し、年間を通じて施設利用できるように施設整備を行い、利用者数の増加を図る。	
79	4-3	商業の振興	商工労政課	商店数	累計	514店	514店			評価対象外	商業統計調査の調査年でないため。
80			商工労政課	商品販売額	年間	554億円	580億円			評価対象外	商業統計調査の調査年でないため。
81			商工労政課	古民家等活用店舗件数	累計	15店	30店	17店	★★	市内の商業関係については、近年の不景気により厳しい状況が続いており、今後は、新規の出店は難しい状況にあると考えられる。	
82	4-4	工業の振興	商工労政課	綾部工業研修所事業受講者数	年間	33人	50人	29人	★	長引く不況や海外生産へのシフトにより企業の新規雇用が大きくは伸びておらず、若年技術者も同様に伸びない中で、受講者数の確保は厳しくなっている。関係機関と連携し、市内や近隣の企業へのピーアールに努める。	
83			商工労政課	北部産業技術支援センター機械貸付件数(市内企業)	年間	171件	250件	455件	★★★	目標を達成できた。	
84			商工労政課	綾部市工業団地立地企業数	累計	9社	10社	9社	★	積極的な企業誘致を展開するほか、既立地企業にも規模拡大による用地活用を呼びかけ、早期の分譲を目指す。	
85			商工労政課	製造品出荷額等	年間	864億円	1,200億円			評価対象外	工業統計調査の調査年でないため。
86			商工労政課	工場設置奨励金交付件数	年間	22件	25件	18件	★	リーマンショック以降、企業の生産活動が伸びない中で、円高や生産の海外シフト、利益率の低下など、新たな設備投資に資金を回せない企業が多い。制度ピーアールの充実にも努めるほか、企業が活用しやすい制度として、内容についても要件緩和の検討を進める。	
87			4-5	観光交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	360,221人	430,000人	383,386人	★★
88	観光交流課	宿泊観光客数			年間	62,519人	65,000人	61,823人	★	里山ねっと・あやべの宿泊者が半減したことが影響した。ツアー事業の実施や大手アウトドアグッズメーカーの会員向けに情報提供を行うことなどで宿泊客の増加を図る。	
89	4-6	地元雇用の確保	商工労政課	就職フェア参加企業数	年間	21社	40社	20社	★	リーマンショック以降も、震災や円高などによる景気の後退により、各企業とも雇用の抑制を図っており、参加企業数も減少している。今後も景気が急回復する見込みは低いことから、厳しい状況が予想される。参加企業の意向にも配慮し、関係機関との連携強化を図り、企業の参加しやすい環境整備と、積極的な参加呼びかけを行う。	
90			商工労政課	就職フェア参加者数	年間	168人	200人	110人	★	景気の悪化に伴う参加企業数、求人数の減少等により、徐々に参加者数が減少している。参加者のニーズを把握するとともに、関係機関との連携により、内容、情報提供等の充実を図る。	
91			商工労政課	綾部市勤労者住宅資金融資件数	累計	63件	70件	63件	★	制度の利用促進を図るためには、融資額の上限や金利等の見直しを検討する必要がある。	
92	5-1	環境の保全と創造	環境保全課	コスモス祭来場者数	年間	3,500人	3,500人	1,600人	★	地区の行事や行楽シーズンの時季でもあり、目標数に達しなかった。シルバー人材センターとの共催により、さらに魅力あるものに努める。	
93			環境保全課	廃食油回収量	年間	6,920ℓ	7,000ℓ	6,168ℓ	★	人口や世帯数の減少に伴う回収量の減少が考えられる。各地区への協力依頼のほか、更なるPRに努める。	
94			環境保全課	環境講演会参加者数	年間	200人	300人	200人	★	興味のある講演会を企画し、一定の進捗を示した。子供から大人まで興味が持てる講演会となるよう努める。	
95			環境保全課	BOD環境基準適合率	—	100%	100%	100%	★★★	目標を達成できた。	
96			環境保全課	上林川を美しくする会草刈り等参加者数	年間	120人	120人	133人	★★★	目標を達成できた。	

No.	区・部	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	実績値	評価	説明
97	5-2	廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物(紙類)回収量	年間	1,326t	1,500t	1,302t	★	ペーパーレス化の影響も考えられる。積極的にPRし、回収量の増加につなげたい。
98			環境保全課	資源物(衣類)回収量	年間	24t	25t	29t	★★★	目標を達成できた。
99			環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率	—	63%	70%	63%	★	推進員が地域で活動するノウハウを得るため、研修会に参加する意識は高い。より興味深い、集客力のある研修会を企画する。
100			環境保全課	可燃ごみ収集量	年間	7,081t	6,500t	6,678t	★★	全体的に可燃ごみの量は減少している。ごみ減量を広く市民に啓発していく。
101			環境保全課	不燃ごみ収集量	年間	716t	650t	732t	★	不燃ごみ量の増加の要因の一つには経済活動の活性化も考えられる。新最終処分場の建設に鑑み、市民の関心も高まることから、より一層のごみ減量を訴える。
102			環境保全課	1人当たりごみ排出量(家庭ごみ)	年間	222kg	200kg	217kg	★★	リサイクル推進員の総会や、地域の研修会等でごみ減量をPRした成果が表れている。
103			環境保全課	1人当たりごみ排出量(粗大ごみ)	年間	8kg	7kg	8kg	★	ごみ量の増加の要因の一つには、経済活動の活性化によるものと考えられる。新最終処分場の建設に鑑み、市民の関心も高まることから、より一層のごみ減量を訴える。
104			環境保全課	1人当たり資源物回収量	年間	51kg	60kg	53kg	★★	回収量は順調に進捗し、リサイクル意識が徐々に高まりつつある。
105			環境保全課	し尿処理量	年間	12,693kℓ	8,701kℓ	11,860kℓ	★★	し尿処理量は毎年着実に減少しているが、水洗化の進捗状況や一部の簡易水洗化による処理量増の要因等により、減少傾向が若干鈍化する傾向もみられる。
106			環境保全課	浄化槽汚泥処理量	年間	15,585kℓ	18,501kℓ	14,511kℓ	★	浄化槽汚泥の処理状況を把握し、現状の処理行程を確保するとともに老朽化して機能低下に陥っている脱水設備・焼却設備の早期の更新、改修を目指す。
107	5-3	上下道の安定供給	水道課	水道普及率	—	97.3%	97.5%	97.4%	★★	公共下水道工事及び農業集落排水工事等と連携を図り、事業の進捗を図る。
108			水道課	下水道布設延長	年間	2210m	2,500m	2,350m	★★	公共下水道工事及び農業集落排水工事等と連携を図り、事業の進捗を図る。
109			水道課	下水道新設延長	年間	324m	1,000m	1,689m	★★★	目標を達成できた。
110	5-4	下水道の整備促進	下水道課	水洗化人口	—	22,000人	26,100人	23,212人	★★	水洗化説明会において、早期接続を促すとともに排水設備等資金融資あっせん制度の利用を呼びかけ水洗化を図る。
111			下水道課	汚水処理人口普及率	—	59.3%	70.0%	64.3%	★★	行政人口が減少しているため、普及率が高くなる要因があるものの、現在整備を行っている農業集落排水事業のうち、物部地区において一部供用開始を行ったことなどにより、増加の割合が大きかった。
112	5-5	防災対策の推進	総務課	自主防災組織数	累計	121組織	196組織	130組織	★★	自主防災組織の運営、活動において高齢化やリーダー、活動要員の不足などから、新たな組織結成が進みにくく傾向にある。
113			都市建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	年間	7件	15件	12件	★★	広報等による制度の周知を図るとともに、市民の地震に対する関心の高さから増加傾向にある。
114			都市建築課	木造住宅改修補助件数	年間	1件	10件	11件	★★★	目標を達成できた。
115			建設課	災害時避難所整備実施箇所数	累計	3箇所	9箇所	4箇所	★★	京都府との連携により事業が推進できた。
116			建設課	急傾斜地崩壊対策事業新規実施地区数	累計	—	5地区	1地区	★★	京都府との連携により事業が推進できた。
117			総務課	防災座談会等の開催数	年間	21回	25回	21回	★	東日本大震災以降、防災への関心は高まっている。自主防災組織等ネットワーク会議を通じて、粘り強く防災活動の必要性を訴えかけるなど啓発を行っていく。
118			消防本部	各訓練・行事参加消防団員数	年間	4,163人	4,400人	4,210人	★★	防火啓発活動では、女性消防団員による各種イベントのPRを行うとともに、消防団協力事業所の認定等、消防団員の参加しやすい環境づくりに努めた。
119	消防本部	訓練実施事業所・自治会数	年間	66か所	100か所	44か所	★	事業所や自治会に対して積極的に訓練の実施を呼びかける。		

No.	区・節	基本施策	担当課	目標とする指標	区分	基準(21)	目標(27)	実績値	評価	説明
120	5-6	消防・救急体制の充実	消防本部	訓練参加者数	年間	4,783人	5,500人	4,802人	★★	訓練実施回数が少ない事業所に対して積極的に訓練の実施を指導した。また、防火座談会と合わせて消火訓練等を実施した。
121	消防本部		防火座談会参加者数	年間	539人	800人	323人	★	住宅用火災警報器の設置率が低い自治会等を中心に防火意識の高揚を図るため、積極的に防火座談会の実施を呼びかける。	
122	消防本部		救命講習受講者数	累計	7,571人	12,000人	8,763人	★★	ボランティアによる綾部市応急手当インストラクターの協力を得ながら、救命講習受講者数を増やしていく。	
123	5-7	生活の安全性の向上	総務課	交通安全啓発活動参加者数	年間	580人	620人	520人	★	雨天中止が多く、参加者が減少した。交通安全関係団体が連携し、街頭啓発活動や交通安全教室、安全安心のまちづくり市民大会など、交通安全に対する市民意識の高揚を図る取組を実施していく。
124			総務課	防犯啓発活動参加者数	年間	600人	640人	540人	★	防犯や市民生活の安全・安心に取り組みの団体が連携し、防犯に係る街頭啓発活動や安全安心のまちづくり市民大会など、市民生活の安全・安心に対する市民意識の高揚を図る取組を実施していく。
125			商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	193人	250人	1,101人	★★★	目標を達成できた。
126	商工労政課	消費生活相談件数	年間	96件	85件	105件	★	消費生活相談件数が増加したことは、逆に相談窓口が周知されてきたと言える。被害防止のための啓発活動を強化し、複雑化する悪質商法の手口にあわないため、出前講座等を実施する。		
127	商工労政課	多重債務相談件数	年間	18件	12件	11件	★★★	目標を達成できた。		
128	6-2	住環境の整備	定住促進課	あやべ桜が丘団地販売区画数	累計	386区画	459区画	398区画	★★	分譲価格の改定及び補助金の新設により、3年ぶりに2桁の販売実績を上げることができた。
129	6-3	道路の整備	建設課	市道舗装率	-	91.0%	92.0%	91.2%	★★	未舗装の新規市道認定もある中、改良、修繕、舗装など優先順位を決定しながら実施している。
130	6-4	公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	238,012人	245,000人	237,166人	★	運行事業者と協力し安定した運行を行うとともに、各種利用促進事業を実施し、乗車増を目指す。
131			市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	27人	50人	48人	★★	補助制度の要件を緩和するとともに、近隣高校と連携を強化し周知に努めている。
132			市民協働課	あいトレイン参加者数	年間	90人	100人	101人	★★★	目標を達成できた。
133	6-5	公園・緑地空間の保全	都市建築課	都市公園の1人当たり面積	-	17㎡	18㎡	18㎡	★★★	目標を達成できた。
134	6-6	斎場・墓地の適正管理	環境保全課	斎場使用件数(吉別式)	年間	175件	190件	203件	★★★	目標を達成できた。
135			環境保全課	斎場使用件数(通夜)	年間	93件	95件	137件	★★★	目標を達成できた。
136	6-7	地域情報化の推進	秘書広報課	綾部市ホームページへのトップページアクセス件数	年間	397千件	420千件	325千件	★	市内外の人に見てもらいやすい、見る気にさせるホームページづくりに努める。
137	0-1	開かれた市政の推進	秘書広報課	コミュニティFM放送局行政情報提供件数	年間	1,033件	1,100件	1,070件	★★	きめ細かい行政情報の提供に努めている。
138			総務課	情報公開・個人情報保護制度ウェブサイト情報数	年間	6,009件	8,000件	2,667件	★	サーバー更新コンテンツ内容の変更や重複などの修正を行い整理した結果コンテンツ数が少なくなった。各課必要な情報を早く正確に伝えられるよう、コンテンツの作成を行う。
139	0-3	健全な財政運営	財政課	地方債発行額/地方債元金償還額(普通会計)	-	0.348	1.0未満	0.495	★★★	目標を達成できた。
140			財政課	実質公債費比率	3か年平均	20.6%	18.0%未満	14.8%	★★★	目標を達成できた。